

Remark Office OMR V7 のバブルフォントについて

Remark Office OMR V7 をインストールすると、Remark 開発元メーカーが配布している OMR 用のバブルフォント（マーク内に文字が入っているフォント）がインストールされます。

また、Remark がインストールされていない環境でも、このフォントをインストールすると、Word や Excel 等のアプリケーションでバブルフォントを使用して Remark 用の帳票を作成することが出来ます。

【フォントのインストール】

2000/XP：コントロールパネルの「フォント」を開き、[ファイル]メニューから[新しいフォントのインストール]を選択し、フォントのファイルを指定します。

Vista/7：コントロールパネルの「フォント」を開き、フォントファイルをウィンドウ内にドラッグ&ドロップします。

このフォントは英語キーボードを使用する環境を想定して作成されたものであるため、キーの配列が異なる日本語キーボードでは入力することのできない文字があります。

各フォントを指定し、日本語キーボード（半角のみ）で入力した結果は次の通りです。

1 列目：『 1 』のキーから『 ¥ 』のキーを押した場合の結果です。

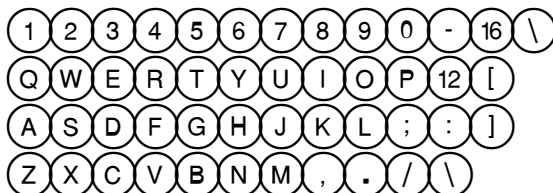
2 列目：『 Q 』のキーから『 [』のキーを押した場合の結果です。

3 列目：『 A 』のキーから『] 』のキーを押した場合の結果です。

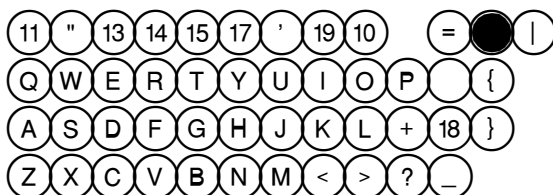
4 列目：『 Z 』のキーから『 ¥ 』のキーを押した場合の結果です。

※空白の部分は、キーを押下しても入力されない部分です。

■OMRBubbles



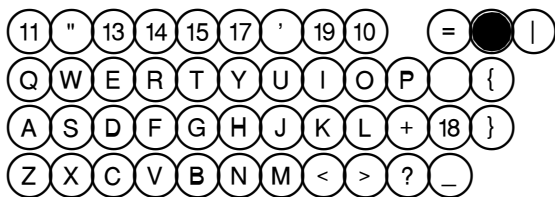
「Shift」キーを押した場合：



■OMRBubblesLC



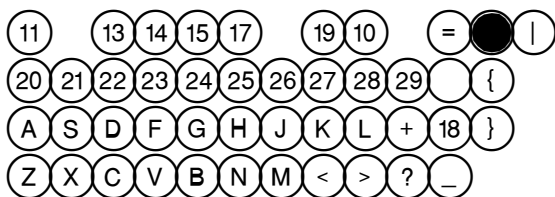
「Shift」キーを押した場合：



■OMRBubblesLCextended



「Shift」キーを押した場合：



以上